

防災情報の特集ページ開始

2021年9月～

防災 命を守るために

台風に備える 下

広範囲に高潮リスク

台風に備える 下

本特集は過去11月に上陸したケースもある台風。その被害の一つが高潮だ。広島県は月、国内で最も上層も大きな台風が襲来したと想定し、高潮による浸水想定区域図を作成した。浸水エリアは広島市中心部の広域に及び、中部地方ではこれまでにも被害が起きており、被害の大きさやハード面の整備も進む。高潮の仕組みとリスクについて紹介する。(取材：廣大)

最大規模の台風が広島都市圏を直撃した場合の浸水想定エリア

浸水深
5m以上 10m未満
3m以上 5m未満
1m以上 3m未満
0.3m以上 1m未満
0.3m未満

高潮対策の主な取り組み



市区	浸水面積 (千平方メートル)	最大浸水深 (メートル)
広島市	62.9	8.1
呉市	29.7	7.1
竹原市	6.7	6.7
三次市	18.1	3.6
尾道市	21.3	3.6
鞆川町	56.6	6.7
大竹市	7.2	3.8
東広島市	2.8	6.7
廿日市市	9.3	6.7
江田町	11.1	7.2
府中市	2.3	7.6
福山市	3.3	7.7
鞆町	2.9	7.3
大府上町	6.3	6.1

近年の大規模な高潮災害

2005年 8月	ハリケーン・カトリーナ(米国)	死者 1800人以上 避難者 約130万人
2013年 11月	台風30号・ハイエン(フィリピン)	死者・行方不明者 7000人以上 避難者 約400万人

避難する際も要注意



これまでのシリーズは中国新聞デジタルでご覧いただけます。 次回は12月8日に掲載します。

防災 命を守るために

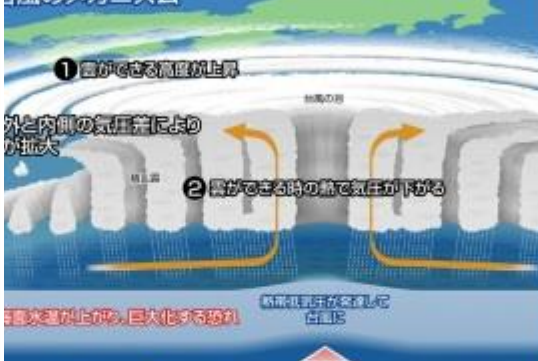
台風に備える 中

巨大化招く温暖化

台風に備える 中

本特集は台風シーズンを迎え、ことしも4国地方への接近や上陸があった。近年、地球温暖化が進んで海面水温が上がり、台風が巨大化して被害を齎す恐れが増している。「スーパー台風」「メガ台風」などと呼ばれることもある。巨大化のメカニズムを紹介するとともに、注意すべきポイントを紹介した。

台風のメカニズム



2 接近の1~2日前

- 台風の進路や到着情報、自治体の避難情報を確認
- 熱い風呂、お風呂に水をためるなど生活用水の確保
- 窓ガラスをテープやフィルムで補強
- 薪木薪や乾草などを屋外にしまう

3 接近時

- 早めの避難を心掛ける。不要不急の外出は控える
- 雨や1.5mの様子を見に行かない
- 避難用となった場合は自宅の上層で過ごす

これまでのシリーズは中国新聞デジタルでご覧いただけます。 次回は11月10日に掲載します。

防災 命を守るために

ハザードマップ HPで確認しよう

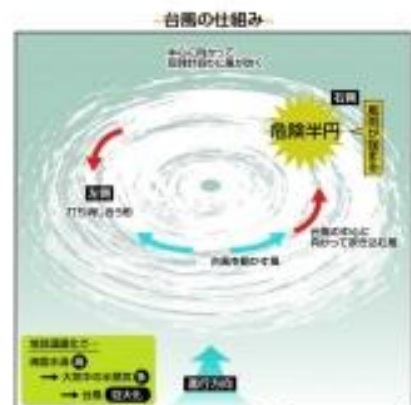
ハザードマップ HPで確認しよう



台風に備える 上

自宅の周り 危険度は

自宅の周囲に危険な場所はないか、避難経路や避難場所を確認し、避難準備を整えよう。台風が近づくと、自宅の周囲に危険な場所があるかもしれない。事前に確認し、避難準備を整えよう。

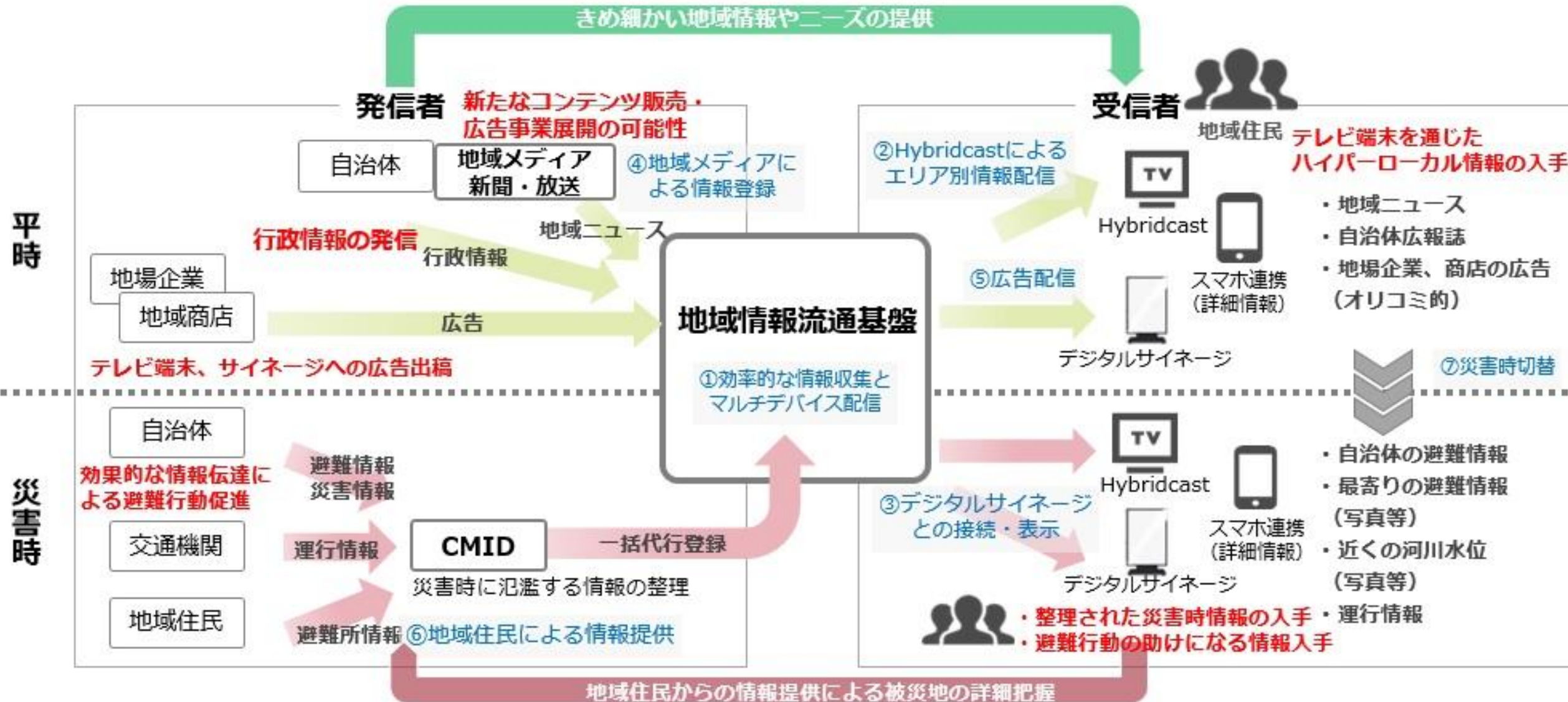


避難する時の主な持ち出し品チェックリスト

- | | |
|------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> レインウェア |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> アルミ寝袋シート |
| <input type="checkbox"/> 乾電池(ヘルメット電灯用) | <input type="checkbox"/> ビニール袋 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(非可燃電池式が便利) | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(再生) | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 携帯充電機、手帳電池 | <input type="checkbox"/> 現金や通帳などの貴重品 |
| <input type="checkbox"/> ライター(カマキリ) | <input type="checkbox"/> 緊急連絡(ばんそうこう、消毒液) |
| <input type="checkbox"/> 作業用手袋 | <input type="checkbox"/> マスクや消毒用アルコール |
| <input type="checkbox"/> スリッパ | <input type="checkbox"/> 緊急連絡用携帯電話 |
| <input type="checkbox"/> 避難用靴 | <input type="checkbox"/> その他自分や家族に必要なもの |

「避難する際の準備」のページは中国新聞デジタルでご覧いただけます。 次回は11月10日に掲載します。

令和元年 総務省「放送と通信を連携したローカルコンテンツの配信 及び災害情報の提供の在り方」に係る実証事業



災害時において、地域住民からは、どのような情報が知りたいですか？（複数可）

評価・考察



地域住民からの自発的な情報発信の内容として、「道路の状況」や「近くの避難所の避難状況」等、報道機関からの詳細な情報発信が難しい分野への期待値が高かった。

個人によって発信された情報は、信頼性や、正確性が不十分な場合があることについてどのようにお考えですか？

評価・考察

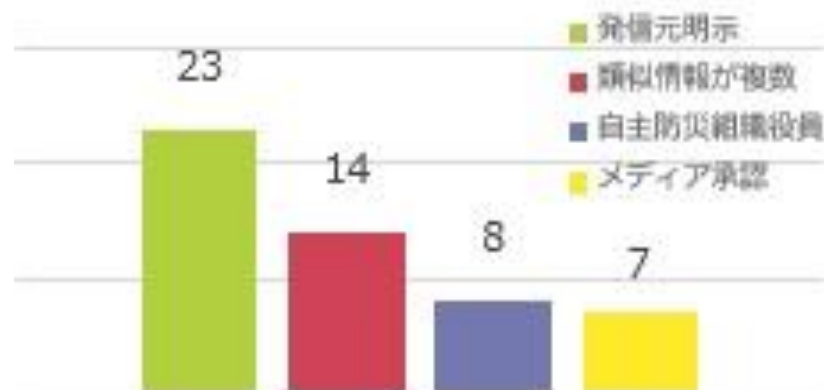
- 信頼性、正確性が明確になっている情報のみ知りたい
- ある程度の正確性が明確になってきた時点でできるだけ多くの情報を知りたい
- 不明確な情報でも早急に知りたい



災害時には約80%のモニターが何らかの信頼性担保を期待している。災害時という緊急事態における情報流通の運用ルールについては、別途検討が必要。

個人による情報発信について、その信頼性、正確性を担保する方法として、どのような方法があると思われますか？

評価・考察



情報の正確性については、「情報の発信元を明示した上で情報発信を行う」ことで、正確性の担保が可能との回答が最も多かった（56%が選択）。次いで、「複数の人が類似の情報を発信した場合に流れる」が多く（34%が選択）、複数の手法を組み合わせて情報発信の方法を検討する方向性についても検討を進めたい。

災害時において、みなさんは情報発信されますか？

評価・考察



「発信しない」以外の選択肢を選択したのが全体の85%程度あり、仕組みを構築することで、地域住民からの情報発信は、可能と想定。